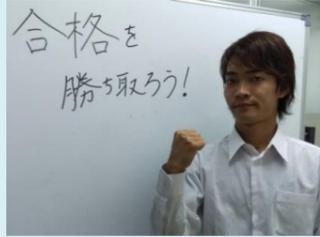


## チューターご紹介 (曜日順)

月曜日担当

**岡本尚樹**(オカモト ナオキ)  
名古屋大学医学部6年



セントメプレスチューターの、名古屋大学医学部医学科6年 岡本尚樹と申します。現在は医学部庭球部と医学部卓球部に所属しております。これから僕が医学部受験に向けて意識したことを、2点書かせて頂きます。受験を迎える方々の多少の参考になれば幸いです。1. 自分の現状実力把握。これまでの模試や学校のテストで分かります。志望校への距離を確認して下さい。2. 模試ごとへの目標(短期目標)を立てること。短期の積み重ねが合格に繋がります。所詮模試だからと逃げないで下さい。ここからは受験勉強の心構えについて書かせて頂きます。受験本番、例え全部自分の苦手分野だったとしても合格点を取れるように、どんなに運がなくても本番絶対受かるように、と思いつつ日々勉強しました。このモチベーションを保ち続けるのはかなり忍耐が必要でした。受験は皆さんが思っているよりずっと甘くないです。「努力した人が必ず報われるとは限らない。しかし成功した人は須らく努力している。」という講師の言葉を今も覚えています。どんな高い壁でも、乗り越えられない試験はないはず。皆さんが合格を勝ち取れるように全力で勉強、メンタル面共にサポートさせていただきます。

水曜日担当

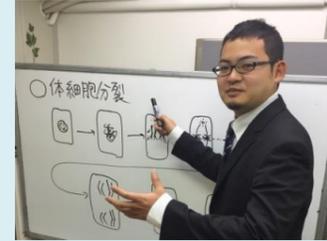
**山下瑞貴**(ヤマシタ ミズキ)  
愛知医科大学3年



こんにちは！初めまして、チューターの山下瑞貴です。現在、愛知医科大学医学部に通っており、今年の春から3年生になります。私は、中学の時から部活でバレーボールをやっています！中高は精神的にも体力的にも厳しく、きっと100回くらい、やめたいと思いましたが、でも、大学は程よく緩いので、なんだかんだ8年も続いています！周りの人や環境に恵まれ、充実した学生生活のおかげで、協調性、思いやり、自分らしさなどたくさんのが得られました。ですが、その中で最も大きなものは、バレーで得た忍耐力だと感じます。この忍耐力を勉強に生かされたのが、医学部合格に繋がったと思うと、中学からの部活の顧問にも感謝すべき部分があるなあと感じる今日この頃です。そんな私が、皆さんにお伝えしたいことは、たくさん質問に来て下さい！というのがありますが、もう一つ、いろんな経験をしてください！ということです。受験も浪人も、終わってみればきっといい経験だったと思えるでしょう。何かしら成長した部分があるだろうなあ、まだ受験が終わって1年しか経たない私でさえ思っていますから！応援しています！

木曜日担当

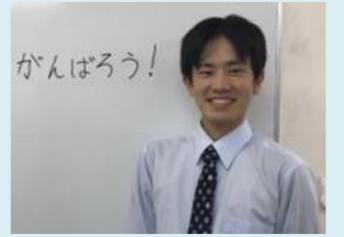
**櫻井悠樹**(サクライ ユウキ)  
名古屋大学医学部4年



どうもこんにちは。チューターの櫻井です。ラ・サール高校出身で、2年の浪人を経て名古屋大学医学部医学科に入学し、今度の春で4年になります。理科の選択は生物・化学で、得意科目は生物、苦手科目は数学でした。自分の受験生時代を思い返してみると、センター試験でなかなか高得点が取れなかったり、数学がなかなか伸びなかったりしてかなり苦労しました。しかし、時間をかけた甲斐あって、受験に必要な知識はもちろんのこと、それ以外にもたくさんのお話を学ぶことができました。その中でも、最も受験生たちに伝えたいのは「身の程を知るのが大事」ということです。これは、自分の力を過信しないということもありますが、卑下するのはいけないということも含まれます。自分の力量の見積もりが高すぎても低すぎても目標にどう到達していくかというプランニングができません。計画が立てられれば、あとはそのとおりに行動できれば、成功の確率は跳ね上がります。したがって、受験生たちには、自分の力がどの程度なのか、客観的に分析してもらいたいです。もし自分の力だけでというのが難しければ、我々チューターも力を貸します。どんどん質問しに来て下さい。楽しみに待っています。

金曜日担当

**森澤淳司**(モリスワ ジュンジ)  
名古屋大学医学部5年



こんにちは、チューターの森澤です。名古屋大学医学部医学科5年生です。自分は生物統計学という研究室で、遺伝統計学の勉強をさせて頂いています。今は論文発表にむけて頑張っていますが、とても充実しています。受験生のみならず、大学に入ったらやりたいことを考えてみるのはいかがでしょうか。「あの大学に入りたい！」という気持ちが強くなり、より受験勉強に気合いが入るかもしれませんよ。さて、受験生の皆さんへのアドバイスは、いろいろなことを考えるということです。何を意識して勉強すれば身につくのかを考える(覚えること？考えること？)、今何を勉強すればいいかを考える(英単語？積分？有機化学？)、勉強せず遊んでしまえばその対策を考える(自習室に行ってみる？スマホを開かないでおく？)、受験本番を予想してその対策を考える(緊張したら？トイレに行きたくなったら？)…。そして、考えるためには、材料として多くの情報を得ることが重要です。是非、先生やチューターにいろいろ質問してくださいね。

## 新顧問のご紹介

伊藤公治郎先生に続き藤田医科大学医学部前准教授でウイルス学の権威前野芳正先生に当塾顧問にご就任いただきました。医学部入試情報と受験生のモチベーション向上を担当していただきます。



※ 当塾顧問伊藤公治郎先生の東海学園引退及び出版記念パーティーを6月17日(月)17:30から金山のグランコート名古屋で開催します。学長中野は幹事の一人です。詳細は追ってご連絡します。ぜひご参加ください。

## お知らせ

メルリックス学院理事長との連名で自治医科大学と産業医科大学を除くすべての私立医大に下記内容の請願書を発送しました。各大学の回答については追ってご報告します。

### 請願の背景

中野俊一は、名古屋市において医学部及び難関大学専門塾「セント・メプレス」を経営し尚且つ直接生徒にも指導を行っている者であります。また、菊地康雄は、東京都と福岡市において私立大学医学部及び歯学部を専門とした「メルリックス学院」を経営している者です。

さて、昨年、東京医科大学の入試得点の不正操作が発覚して以来、国内の私立大学医学部の入試に関し、公正かつ公平な入試合格判定を行っていないのではないかと、との不信感が全国的に広がっていることは周知の事かと存じます。

本来合格するはずであった受験生が不合格になる、ということは道義的にあってはならないことであり、私たち受験教育に携わっている者にとっても、手塩にかけて育てた生徒が闇の中で理不尽に不合格とされるという事態は到底看過できないものであります。

### 請願の趣旨

そこで、中野俊一及び菊地康雄は、貴学に対し、以下の通り請願致します。

このような不正を防止するため、貴学では本年度以降、①性別や年齢、居住地などの属性で点数操作をすることがなく入学試験を実施するとともに、②補欠合格者の繰上順位を該当者に通知するとともに貴学ホームページ上において繰上情報を随時発表することを実行することを請願いたします。つきましては、平成31年5月22日までに、上記①および②についてご回答を賜りたいと存じます。この請願書は全ての私立医学部にお送りしますので、②については既に実行されているケースもありますが、その場合はこれを継続する旨をご回答いただければ結構です。

## 保護者会のご案内

第1回保護者会を開催します。

新しく就任いただきました顧問のご紹介と夏期合宿(原則必修)のご説明をさせていただきます。また大学入試センター試験が、2020年1月(2019年度)の実施を最後に廃止され、2020年度(21年1月)から新しい共通テスト「大学入学共通テスト」に移行されます。共通テストになるとどのように変わり、それに当校がどのように対応していくかのご説明も行います。是非、ご連絡のうえ、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

日時	2019年5月26日(日) 10:00~12:00
会場	ホテルウイングインターナショナル名古屋 (夏期合宿会場)
申込方法	(052)733-3234 セントメプレス(担当:相津)までお電話ください

## プリティ中野のモノローグ

吉田つねひこ先生の未来の医師養成講座2019第1回『ヒブワクチンの定期接種化に至る秘話～研修医として初めて受け持った患者が髄膜炎に罹患した赤ちゃんだったことからそれは始まった』は感動的でした。医師が国政に携わることでどれほど多くの命を救うことができるのかを知りました。第2回は5月13日です。お父様お母様のご参観を期待しております。

